

Crescendo

vol.123

M E D I K I T A R T S C E N T E R くれっしえんど



メディキット県民文化センター
MEDIKIT ARTS CENTER



宮崎県立芸術劇場
MIYAZAKI PREFECTURAL ARTS CENTER

片岡リサ スペシャル・インタビュー

室内楽 × オーケストラの芸術の秋
浦先生の熱視線！

浮足町アンダーグラウンド

アウトリーチ事業

ミュージックシェアリング



PSC #7 東の絃 争～新しい和の調べ～



ハンベルク交響楽団



JOHNS GERBER

ゲヴァントハウス弦楽四重奏団&仲道郁代



© Kiyotaka Saito

Ⅱ 巻頭コラムⅡ わが青春のオリンピック

半世紀余り前、高校1年生の私はその場面を学校の寮で見ていた。東京オリンピックの女子バレーボール決勝。娯楽室のテレビのまわりでは数十名の仲間がソ連チームとの一進一退の激戦に固唾を飲んでた。東洋の魔女と言われた女子チームは日本中の期待を背負って戦っていた。鬼と呼ばれた監督が課した過酷な練習の物語が多く日本人の心に投影し、おそらく数千万人の金メダルへの願いが集中した試合である。日本チームの勝利の瞬間、テレビのまわりで私たちがあげた歓喜の雄叫び。画面では抱き合い涙を流す選手たちの傍で、鬼監督が座り込み放心したような笑顔を浮かべている。

一瞬の静寂。誰もが勝利の余韻を反芻していたかの時に、仲間の一人がボツリと言った。「彼女たちが生まれてきた意味はこれで完結した」その言葉に数人が反応する。「こんな劇的な金メダル取ったら後の人生、へのようなもんじゃろな」「何言いよっとか。この経験が彼女たちに何か役に立つはずじゃが」「いいや、これで燃え尽きてしまったに違いない」「彼女たちはまだ20歳過ぎぞ。これからいくらでも生きる意味を見つければいい」。

私たちは16～17歳の青春まっただ中の若者だった。押しつぶされそうになる受験勉強の中で、一人一人が自分探しをしていた。どの大学に行き、何を学び、その先何者になるのか。自分には一体どんな才能があるのか、世の中は自分に何を求めるのか、自分が生まれてきた意味はどこにあるのか…東京オリンピックは、そうした私たちの青春に激しく突き刺さってきた。テレビが初めてオリンピックを放送し、勝利と敗北のナマの映像に接しながら、私はこれからはテレビの時代なのかもしれないと漠然と予感した。

この夏はリオデジャネイロ五輪のテレビ観戦で暑さをしのがれた方も多かったでしょう。はるか昔のことを思い出し少々書いてみました。私がテレビの仕事に進んだのは必ずしもこの体験からだけではないのですが、その後オリンピック関連の番組を企画するたびにこの体験は動機付けになりました。

あの東京五輪でマラソン金メダルを取ったアベベ・ビキラを取材し、数十年後、彼が両足を失ってパラリンピックに出場し再び金メダルを取ったこと。女子体操のベラ・チャスラフスカが東京とメキシコの金メダルの後、反体制の闘士として20年余りの地下生活を送り、やがてソ連からの解放となったチェコの政界に再登場したこと…そうした企画や取材にあたる時、「生まれてきた意味が金メダルで本当に終わるのか、いやいやその後にも人間の物語はあるはずだ…」といった高校時代の体験に遡った思いを抱いていたような気がします。

スポーツに限らず、私が今関わっている音楽や演劇の世界でも、若い人がそれに接したとき思っても見ない衝撃や感慨、引いては自分の生き方を考える機会になるのではないだろうか…そんなことも思いながら、さて4年後は再びの東京オリンピックです。その機会に宮崎はどんなイベントを計画し、世界に向けてどう発信していくのか、文化プログラムへの取組みが劇場の仕事の一つになっていきます。私にとっては終わらない青春を感じた夏でした。

公益財団法人宮崎県立芸術劇場理事長 佐藤寿美

Special いま“注目”の若手、ナニワの箏奏者 片岡リサに聞く！ interview

🎵 箏との出会いを教えてください。

先にピアノを習っていましたが、小3の時に音楽好きの父から「箏を習ってみたいか」と言われ、ピアノの先生が怖かったので(笑)、別の楽器に逃げられる!と思い飛びつきました。子供の時から仕込んでくれた師匠の音色に憧れて、どうすれば同じように演奏できるのか必死に稽古していました。

🎵 宮崎は第2の故郷とお聞きしましたが、 宮崎との関わり、印象、思い出を教えてください。

宮崎は母の故郷です(延岡市北浦町出身)。私は大阪生まれですが、3歳から小6まで、毎年夏休みに入ると北浦の母の実家で1か月過ごしていました。北浦の家は海が近いので、見たことの無いフナムシに怯え(笑)、海で真っ黒に日焼けするまで泳ぎ、毎日食卓に並ぶ魚が嫌で文句を言っていたことなど、懐かしく思い出します。近所のおばちゃん達の話す声が大きく、最初何を言っているか分からなかったのも楽しい思い出です(今でも時々わからない単語が…笑)。

🎵 スイーツが大好きとお伺いしました。 宮崎の好きな食べ物、スイーツはありますか？

やっぱりマンゴー! ? 「太陽のたまご」がいいですね(笑)。あとはチーズ饅頭、延岡にある虎屋の銘菓「破れまんじゅう」! ポイントカードも持っています。

🎵 片岡さんの思う箏の可能性、楽器の魅力とは？

箏の魅力はなんといっても「音色」だと思います。柔らかいイメージかもしれませんが、結構張りがあり強くしなやかです。箏の音はどの楽器とも不思議とよく合うだけでなく、埋もれずに「これだ! 」と聞き分けることができる唯一の音色を持っています。88も鍵盤のあるピアノに比べ、13本しかない弦と右手の指3本で奏でる箏は、音域や音量など制約が多いですが、先人の知恵と工夫によりさまざまな奏法や表現を伴って、伝統的な曲だけでなく新しい曲にも、またソロやアンサンブル等、どんな曲にもマッチする楽器です!

🎵 これまでもさまざまな方と共演されていますが、 特に印象に残っているコラボレーションは。

元々音楽はピアノから入ったこともあり、ピアノをはじめ洋楽器を聞くことが好きなので、洋楽器と一緒に演奏するととても楽しいです。特にオーケストラとの共演は、指揮者の横で演奏していると、自分がCDの中にいるんじゃないかと錯覚するほどワクワク

します。洋楽器でも和楽器でも民族楽器でも、箏とは違う音・空間を持つ楽器との演奏は、どんな楽器でも楽しいですね。

🎵 音楽ユニット「MUSIKROWN」との共演で 楽しみにされていることは。

ピアノとの共演はこれまでも何度もあります。パソコン操作でオーケストラの音と合わせるということが初めてで、少しドキドキしています。が、お二人ともお若くして才能あふれる方々なので、また新しい箏の世界に挑戦でき、お客様にそれを見て感じていただけるのではと、今から楽しみです。

🎵 公演を楽しみにしている皆さんへ メッセージをお願いします。

宮崎は母のふるさとでもあり、私が幼いころから親しんだ第二の故郷でもあります。いつか宮崎県立芸術劇場でコンサートができたと思っています。一般的には、箏は敷居が高いとか、分かりづらい等のイメージを持たれがちですが、もっと楽しく聴いてもらえる楽器であることを知って頂きたいと思い、今回、演奏の合間に曲の解説や楽器についてのトークも交えながら、楽しくわかりやすく進めてまいります! 大阪仕込みの弾丸トーク! ? で楽しいコンサートにしたいと思っていますので、一度聴いてみなきゃ損! ソン! ぜひともお越しいたき、10月の芸術の秋を過ごしていただきたいです。

片岡 リサ(箏奏者)

大阪音楽大学卒業、同大学専攻科修了。幼少より箏・三絃を始め、これまでに数々のコンクールで第1位を受賞。平成13年度文化庁芸術祭(音楽部門)新人賞を、史上最年少で受賞するなど、伝統音楽の枠を超えた音楽性が様々なジャンルで高く評価されている。皇太子殿下・秋篠宮殿下御前演奏をはじめ、第21回出光音楽賞、平成22年度 咲くやこの花賞、平成22年度大阪文化祭賞など多数受賞。オーケストラと協演、洋楽器とのアンサンブルや現代作品にも力を入れている。現在、大阪音楽大学講師。



夏真っ盛りの8月16日(火)、お箏とピアノとPCが一同に会する初めてのリハーサルが行われました。どことなく緊張感の漂うイベントホールに、MUSIKROWNのお2人と当日大阪から入った片岡さんとが合流。会うのがこの日で2度目とは思えないほど和気あいあいとした雰囲気です。リハーサルがスタートしました。ピアノと箏とオーケストラ操作(PC)による未知なる共演は、出演者にとっても初体験。ホールに響くお互いの音を確認しながら、気になった点やタイミングなどの調整を重ねていきました。出演者全員が「とにかく楽しんで欲しい」と声を揃える、今回のコンサート。お箏のイメージが180度変わるかもしれない「新しいこと尽くし」のコンサートに、ぜひご期待ください!

(写真左から)
ちやまき 樗木、片岡、後藤



リハーサル後、満面の笑みで「来てくださ〜い!」

公演情報
Premium Select Concert #7 東の絃・箏〜新しい和の調べ〜 10月8日(土) 開場13:30 開演14:00 【会場】イベントホール 【出演】片岡リサ(箏・歌) MUSIKROWN(後藤望友※宮崎市出身・樗木太一) (ピアノ・作曲・オーケストラ操作(PC)) 【曲目】滝廉太郎「荒城の月」 宮城道雄 feat. MUSIKROWN: The spring sea(春の海) ほか 【料金】全席指定 一般3,000円[会員2,700円] U25割1,500円 親子割3,500円 2公演セット券5,000円 ※ドリンク券付き(10/7まで販売)、 ※同シリーズの#8「西の絃・ギター 〜歌声と爪弾く調べ〜」 (11/27開催)とのセット券



浦先生の

熱視線！

浦 雄一(うら・ゆういち)

広島市出身。武蔵野音楽大学作曲学科卒業、セントクラウド州立大学大学院修士課程(器楽指揮)およびアイオワ大学大学院博士課程(管弦楽指揮)修了。音楽芸術博士(DMA)。2012年より宮崎大学に奉職。同大学管弦楽団顧問・音楽監督、宮崎市消防団音楽隊長、宮崎メサイア合唱団指揮者を兼任する傍ら、九州各地のコンクールで審査員を務めるなど、地域に根差した活動を行っている。

2016年、クラシックシーズン企画

室内楽 × オーケストラの芸術の秋

今回は、音楽愛と広島カープ愛に溢れる浦雄一先生(宮崎大学教育学部講師)に、指揮者&作曲家ならではの視点から、秋の2大公演をより楽しむためのポイントについて熱く語っていただきました！

室内楽

ゲヴァントハウス弦楽四重奏団&仲道郁代

Point! 1 奏者の歓びをダイレクトに感じよう！

器楽奏者にとって室内楽の魅力とは何でしょうか？ たくさん思いつく答えの中でも「気心知れた仲間と一緒に音楽をつくりあげる歓び」は大きいと思います。聴く側にとっては、彼らの歓びや本気のまなざしをダイレクトに、ライブで感じられることが大きな楽しみの一つ。本拠地であるライブツィヒから遠く離れたこの宮崎の地で、美味しいものを食べて飲んで、素晴らしい音響のホールで珠玉の名作を演奏する歓び・・・しかも日本が誇る美人ピアニスト・仲道郁代さんをゲストに迎えて。ああ、羨ましい！・・・じゃなくて、室内楽の醍醐味を味わえる休日になること間違いなしだと思います！

Point! 2 偉大な作曲家たちが残した、三者三様の室内楽曲

「交響曲の父」とであると同時に「弦楽四重奏の父」でもあるハイドンの「ひばり」は、親しみやすい旋律が印象的な古典の名曲。ドヴォルザークの「アメリカ」は、交響曲第9番「新世界より」を完成させた直後に作曲された、渡米後第2弾となる作品。実は私自身、この曲が生まれたアイオワ州というところに4年ほど住んでいたのですが、アメリカ中西部の田舎町らしいのどかさ、心地よい明るさと、望郷の想いが入り交じったような作風だと感じています。最後はシューマンの「ピアノ五重奏曲」。シューマンは室内楽曲をあまり多く書きませんでした、しっかりと構成されたこの曲の中にも、ピアノが大活躍する場面があったり、ふとした瞬間に甘美なハーモニーが現れたり・・・と、きまぐれかつロマンチックなシューマンらしさ全開の傑作です。偉大な作曲家たちが残した三者三様の室内楽曲を超一流の演奏でお楽しみいただける、充実のプログラムとなっています。



ゲヴァントハウス弦楽四重奏団と共演するピアニストの仲道郁代さんからメッセージが届きました。

Message

仲道郁代(ピアノ)

世界最古のゲヴァントハウス弦楽四重奏団と共演出来ることを楽しみにしております。今回は私自身の演奏活動30周年ということもあり、大変素晴らしいクアルテットの方々とご一緒させていただくことを嬉しく思っております。このクアルテットの初期には、シューマンの奥様であるクララ・シューマンとも共演しているのだそうです。(もちろん、その頃のメンバーが現在演奏しているわけではありませんが。)そういった時代の伝統を脈々と受け継いでいるクアルテットです。そんな彼らとのピアノ・クインテットはロマンと発見に満ちたものになるでしょう。クアルテットの曲たちも名曲揃いです。アイザックスターンホールの親密な響きの中で、極上の室内楽をお楽しみいただきますよう、準備を重ねてまいります。

オーケストラ

バンベルク交響楽団

Point! 1 89歳が対峙する、1時間超の大曲！

あなたは想像できますか？ 89歳のおじいさんが、大観衆に囲まれた舞台の上で、70分間もタクトを振り続ける姿を・・・それが現実となるのが、今回の公演です。ブルックナーの交響曲第7番は、とにかく大規模。第1楽章から約20分を要するなど演奏時間が長大であるだけでなく、通常の楽器編成に「ワグナーチューバ」という特別な金管楽器が4本追加されていて、音響的にも圧倒される音楽です。この肉汁溢れるような大曲を、ベジタリアンとして知られるシェフ(指揮者)がどう料理するのか?! ブロムシュテットによるブルックナーの7番とえば、ドレスデン・シュターツカペレとの録音^注が名盤とされていますが、さらに円熟味の増した名演をご一緒に堪能しましょう。

【注釈】

注:ドレスデン・シュターツカペレとの録音…1980年、ドレスデン・ルカ教会で録音(日本コロムビア/DENON)。

Point! 2 作曲家が想いを込めた、2つの「7番」

シューベルトは8曲、ブルックナーは11曲(第00番・第0番含む)の交響曲を残していますが、今回取り上げられる2つの「7番」はいずれも、作曲家の思い入れが最も強かった交響曲ではないかと、私は考えています。シューベルトの交響曲第7番は、通常より少ない2楽章構成であるため「未完成」の愛称で知られていますが、彼は決して途中で作曲を投げ出したわけではなく、第2楽章を書き終えた時点で「これ以上は必要ない」と作品の出来に満足して筆を置いたとのだ言われています。一方、ブルックナーは、交響曲第7番の作曲中、敬愛していたワグナーが危篤状態にあることを知りました。そして、第2楽章について「だから嬰ハ短調のアダージョ楽章を思いついた」と書いています。作曲家の想いがつまったこの2つの交響曲が、楽譜に忠実な解釈で名高いブロムシュテットの指揮によってアイザックスターンホールに響く日曜日の午後・・・きっと、胸に残る大切な時間となるはずです。

Point! 3 これぞ、まさにドイツ・サウンド！

バンベルクは、バイエルン州北部に位置する人口約7万人(宮崎市の人口の約1/6!)の都市です。旧市街の町並みが大変美しく、1993年にユネスコの世界遺産に登録されています。そんな一度は訪れてみたい町のオーケストラ、バンベルク交響楽団の特徴と言えば、ヨーゼフ・カイルベルトやオイゲン・ヨッフムら正統派の巨匠たちと培った“ザ・ドイツ・サウンド”とも呼ぶべき人間的で温かな響き・・・だと、私は感じています。この度の公演でも、弦楽器の“くすみ”や、ここぞ!という場面での“深み”が、シューベルトとブルックナーの本質に迫るものと期待しています。



名匠・ブロムシュテットから公演に寄せてメッセージが届きました。

Message

ブロムシュテット(指揮)

1982年に、初めてバンベルク交響楽団を指揮して以来、度々客演しているで彼らとは長い付き合いになります。もちろん、それ以前にも、私が学生の頃から聴いていましたが、ドイツらしさを色濃く持った素晴らしいオーケストラです。今回取り上げるブルックナーは、私が10代の頃から好んでいた作曲家の1人です。日本は、私がよく挙げる好きな国の1つですが、今回宮崎で演奏できることをとても楽しみにしています。

浦先生の熱視線！いかがでしたか。

あなたは、室内楽派？それとも、オーケストラ派？はたまた、両方聴く派？せっかくの芸術の秋・・・どちらの公演も制覇して、思う存分「音楽の秋」を満喫してはいかがでしょうか。

公演情報
ゲヴァントハウス弦楽四重奏団&仲道郁代 9月22日(木・祝) 開場13:30 開演14:00 【会場】アイザックスターンホール 【出演】 ゲヴァントハウス弦楽四重奏団 仲道郁代(ピアノ) 【曲目】 ハイドン:弦楽四重奏曲 第67番 二長調「ひばり」作品64-5 ドヴォルザーク:弦楽四重奏曲 第12番 へ長調「アメリカ」作品96 シューマン:ピアノ五重奏曲 変ホ長調 作品44(ピアノ:仲道郁代) 【料金】 全席指定 SS席5,000円[会員4,500円] S席4,000円[会員3,600円] A席3,000円[会員2,700円] U25割1,500円※A席のみ 親子割(小・中学生+一般)3,500円※A席のみ

お得な2公演セット券(セット料金) 全席指定 SS席15,000円[会員13,000円] S席12,000円[会員10,500円] A席10,000円[会員8,500円]

公演情報
バンベルク交響楽団 10月30日(日) 開場14:15 開演15:00 【会場】アイザックスターンホール 【出演】 バンベルク交響楽団 ヘルベルト・ブロムシュテット(指揮) 【曲目】 シューベルト:交響曲 第7番 口短調 D759「未完成」 ブルックナー:交響曲 第7番 ホ長調 WAB107 【料金】 全席指定 SS席13,000円[会員11,700円] S席10,000円[会員9,000円] A席8,000円[会員7,200円] B席6,000円[会員5,400円] C席4,000円[会員3,600円] D席3,000円[会員2,700円] U25割2,000円※C席のみ 親子割(小・中学生+一般)8,500円※A席のみ



まどかぴあ舞台創造プログラム プロデュース公演
「浮足町アンダーグラウンド」
「劇団☆新感線」座付作家・中島かずきの新作描き下ろし、内藤裕敬(南河内万歳一座座長)の演出、個性派俳優・池田成志(大野城市出身)とオーディションで選ばれた九州の演劇人14名の出演。この豪華タッグによる“大野城発”の舞台が、宮崎にもやってきます!!
6月13日(月)、大野城まどかぴあ大ホールで制作発表会見が行われ、公演への意気込みや制作にかける想いなどが語られました。



本公演に向けてー

中島かずき(以下、中島)
僕は炭鉱のあった福岡県田川市出身で、今回、福岡で芝居をつくる機会をいただき、自分なりの炭鉱の話をやってみようと思いました。子どもの時からああいう土臭い町に育ったことが嫌で仕方がなかった、でも、やっぱり心底嫌いにはなれない。そんな気持ちをベースにした作品を書こうと思います。内藤さんと一緒にやるのは初めてなので、それも含めて新鮮な気持ちで芝居を創れると思います。



中島かずき(作)

制作発表会見レポート

内藤裕敬(以下、内藤)
福岡には自分の劇団も早い時期から公演で呼んでもらって、まどかぴあにも随分昔から関わりがありました。そんな中で、地元の劇団の人達ともだいぶ交流ができるようになり、今回も何人か昔からの馴染みがあります。こうやって交流が広がる事業を、公共ホールのまどかぴあが地域振興としてしっかりと踏ん張ってやっていくというのは、素晴らしいこと。それに協力できることは光栄と思っています。



内藤裕敬(演出)

池田成志(以下、池田)
地元で創るお芝居、地元の役者さんと共演するのも初めてなのですが、あまり緊張はしていません。なるべく今回はキリキリしないことをテーマに、できるだけんびり、色んなことをほこほこ、あたかく考えながら、やっていこうと考えています。地元で一ヶ月間親孝行もできますし。このまどかぴあという小屋は、東京にあったとしても結構良い小屋だと思うんです。なので、ぜひ福岡・九州近郊の方に、ちらっと見にきていただければと思っています。



池田成志(俳優・大野城市出身)

九州の俳優たちと共に作品を創ることー

内藤 今回、180人の応募があり、その中からこの14人を選抜しました。オーディションを経て、この(福岡・九州)地域の俳優は潜在能力が高いと感じました。今回はそれをしっかりと舞台で証明しないといけない、そう固く心に決めています。

注目して欲しいポイントは一

中島 僕や池田さんのように、福岡で生まれ、それなりに年を重ねた経験を経た人間がここに戻ってきて、そして、今ここで暮らしている人たちと一緒に芝居を創る、そういう形の中で、ここ福岡で新しいものが生まれる。それはここだけで終わるものではなく、八代、宮崎を回り、そしてもっと先のところまで広がるような可能性を持った芝居を創れたらいいなと思っていますので、ぜひ、そういった新しいことが起こる現場を、確認しに来ていただければと思います。

記者会見後、3人を直撃!



インタビュアー:
劇場の広報ラジオ番組*のパーソナリティを務める前田晶子さん(フリーアナウンサー)
*...MRTラジオ“品子と黒川”のパーソナリティ
《放送》毎週土曜日朝 7:40~7:55

どんなストーリーになりそうですか。

中島 小さな炭鉱町に、第二次世界大戦中に帝国陸軍がつくっていた人造採掘人間がいると思われていて、その秘密を探りに都会の人間がやって来る。そして街全体の秘密をあばいていくというような話になるかなあ、と今思っています。

今回のプロジェクトは豪華ですね。

内藤 参加できて光栄です。僕が一番楽しみにしているんじゃないかな。九州は演劇の地盤がしっかりしているので、ネットワークさえできれば、盤石の地域になるとすごく可能性を感じています。

宮崎公演もありますか。

内藤 宮崎は、ワークショップの事業でおじゃましたことがあります。池田成志さんは、宮崎の酒は全部飲んで帰ると言っているの、それにお供して、地元の劇団の方達とも一緒に飲みたいと思っています。

池田 10年位前に福岡でやったワークショップに、宮崎の子が5、6人来ていましたけど、宮崎からよく来たなあと思ったのを覚えています。宮崎は修学旅行以来行ったことがないので、舞台を精一杯頑張る、その後は宮崎のお酒とゴルフを楽しみたいです。

立山の“ココ”に注目!

福岡出身の中島かずきさんが、九州の役者陣に書き下ろす、大変贅沢な完全オリジナル! 地域発のお芝居をぜひお楽しみ下さい!

公演情報

まどかぴあ舞台創造プログラム プロデュース公演
「浮足町アンダーグラウンド」

■宮崎公演

9月17日(土) 開場18:30 開演19:00
18日(日) 開場13:30 開演14:00

【会場】演劇ホール

【作】中島かずき(劇団☆新感線 座付作家)
【演出】内藤裕敬(南河内万歳一座 座長)
【出演】池田成志 ほか14名
【料金】全席指定 一般3,000円[会員2,700円]
U25割1,500円

【主催】公益財団法人大野城まどかぴあ

【共催】公益財団法人宮崎県立芸術劇場



訪問したのはココ! 西都市立西都銀上学園

たいけん密着!レポート



桐原直子(音楽アウトリーチ事業アドバイザー)
熊谷愛香さん(フルート)
野崎さやか(ピアノ)
▲朝10時半に到着!さっそく会場のセッティングとリハーサルを開始。桐原アドバイザーとともに音の響きをチェックしながら、最高の演奏ができるようにと本番ギリギリまで余念がありません。



▲吹く息の強さや向きを、ティッシュを使って説明。目で確認できるので、わかりやすい!



▲フルートと同じ指使いの「ピッコロ」も演奏。見た目も音の高さも違う「ピッコロ」に興味津々!



▲フルートが使われているCM曲やアニメソングを演奏すると、一気にフルートが身近な楽器に!馴染みのあるクラシックの名曲から超絶技巧曲まで、フルートの魅力を演奏で伝えます。



▲楽器体験では、音が出ますように...と、みんな祈る気持ちで見守ります。音が出る「おほ!」という声と大きな拍手が起きました。



▲フルートの演奏をたっぷり聴いた後は、みんなで歌いたいというリクエストのあった「風になる」(つじあやの)を、フルートとピアノに合わせて大合唱。あつという間の45分でした。

熊谷愛香さん(フルート)編~



▲一人ひとりチケットを手に入場。いつもの音楽室がコンサート会場に!校長先生をはじめ先生方も後方で見学されました。



▲いよいよドレスに着替えたアーティストが登場。間近で聴く生の演奏に釘づけになっている子ども達の姿が印象的でした。



▲手作りの小道具を使って、フルートの発祥地(ドイツ)や、楽器の持ち運びについてのクイズを出すと、元気よく答える子どもたち。コミュニケーションもばっちりです。

たいけん感想

なぜ、狭い音楽室を会場に選ばれたのか...体験してみてもよくわかりました。子どもたちの反応や表情をみながら演奏や話をされるので、子ども達もいつの間にか身を乗り出して音楽の世界に入りこんでいましたね。なかなかコンサートに出かける環境にないので、本当にいい体験をさせていただきました。ありがとうございました。 原田理恵先生

初めて金色のフルートを見ました。きれいでさわやかな音がしました。指の動くところや吹くところを近くで見ることができて嬉しかったです。 原将文くん(小学5年生)

キラキラした綺麗な音色で癒されました。想像していたよりも深い音色がして、私も吹いてみたいと思いました。いつかホールで演奏を聴いてみたいです。 今池京花さん(中学1年生)

いま、宮崎は “ドイツ”が熱い!

今年の芸術の秋は、
ドイツの室内楽とオーケストラが
やってきます!そして、
2020年東京オリンピック・パラリンピック
でも、宮崎が「ドイツ」、「イタリア」の
ホストタウンに登録されました!



そんな“ドイツ熱”の高まりを受けて劇場1階
正面入口のパネル展示では、これまで劇場
がドイツから招聘した公演の一覧や、ドイツ
にゆかりのある山脇幸人さん(指揮/延岡
出身)と、県総合政策課の竹村新吾さんに
ドイツの魅力を語っていただいています。
劇場にお越しの際は、ぜひご覧ください!!

Attention(ご注意)

- ◎記載情報は変更になる場合があります。
- ◎割引サービスの詳細は、劇場HPをご覧ください。
- ◎当日券が出る場合は、一般チケットのみ500円増
(一部公演除く)になります。

8月27日(土)
開場18:30 開演 19:00
28日(日)
開場13:30 開演 14:00
※アフタートークあり

イベントホール

トライアル・シアター 2016

『改訂の巻「秘密の花園」』

作:唐十郎 演出:糸井幸之介(FUKAIPRODUCE 羽衣)
出演:伊藤海(劇団歩く窓/FLAG)、井上大輔(花まるにっぽん座)、大浦愛(劇団こぶく劇場)、大迫
紗佑里(劇団こぶく劇場)、大塚幸治、大坪成樹(劇団イキナコッセン)、小倉鉄夫、尾崎宇内
(無隣館)、片山優花、神水流じん子(劇団25馬力)、久保田杏海(宮崎大宮高校演劇部)、鈴木正也、
平真子(宮崎公立大学演劇部)、長友裕一(劇団ゼロQ)、原田千賀子(劇団ゼロQ)、山口征誉
全席自由 一般1,500円[会員1,300円] U25割1,000円

チケット発売中

9月10日(土)
開場10:30 開演11:00

アイザックスターンホール

パイプオルガン ブロムナード・コンサートvol.152

『オルブラ』～土曜日の朝はオルガンでランチを…～

出演:山田由希子(パイプオルガン)、伊豆謡子(司会)
全席自由 一般(4歳以上)500円 なかよしチケット700円(4歳以上2人1組、前売りのみ)

チケット発売中

9月17日(土)
開場18:30 開演 19:00
18日(日)
開場13:30 開演 14:00

演劇ホール

まどかぴあ舞台創造プログラム プロデュース公演

『浮足町アンダーグラウンド』

脚本:中島かずき(劇団☆新感線座付作家) 演出:内藤裕敬(南河内万歳一座座長)
出演:池田成志 ほか14名
主催:公益財団法人大野城まどかぴあ 共催:公益財団法人宮崎県立芸術劇場
全席指定 一般3,000円[会員2,700円] U25割1,500円

詳細はP5▶▶▶

チケット発売中

9月19日(月・祝)
開場16:30 開演17:00

演劇ホール

島田歌穂with島健ピアノトリオ ～秋の名曲をあなたに～

出演:島田歌穂(ヴォーカル)、島健(ピアノ)、コモブチキイチロウ(ベース)、石川雅春(ドラム)
全席指定 S席4,000円[会員3,600円] A席3,000円[会員2,700円]
U25割(A席のみ)1,500円 親子割(A席のみ)3,500円

チケット発売中

9月22日(木・祝)
開場13:30 開演14:00

アイザックスターンホール

ゲヴァントハウス弦楽四重奏団&仲道郁代

出演:ゲヴァントハウス弦楽四重奏団、仲道郁代(ピアノ)
全席指定 SS席5,000円[会員4,500円] S席4,000円[会員3,600円] A席3,000円[会員2,700円]
U25割(A席のみ)1,500円 親子割(A席のみ)3,500円

詳細はP3▶▶▶

チケット発売中

10月6日(木)～
10日(月・祝)
※各日の開演時間は劇場HP等でご確認ください。

大練習室2

'16みやざきの舞台芸術シリーズII 南華八花 真夏の夜の夢

原作:W.シェイクスピア 訳:小田島雄志 潤色:野田秀樹
脚本・演出:永山智行(劇団こぶく劇場) 出演:「劇団をつくろう!」卒業生有志
全席自由 一般1,000円(前売り・当日とも)

チケット発売中

10月8日(土)
開場13:30 開演14:00

イベントホール

Premium Select Concert #7

東の絃 箏～新しい和の調べ～

出演:片岡リサ(箏・歌)、MUSIKROWN[後藤望友、樗木太一](作曲:ピアノ・オーケストラ操作(PC))
全席自由 一般3,000円[会員2,700円] U25割1,500円 親子割3,500円
2公演セット券5,000円
※同シリーズの#8(11/27開催)とのセット券+ドリンク券付(10/7までの販売)

詳細はP1・2▶▶▶

チケット発売中

10月30日(日)
開場14:15 開演15:00

アイザックスターンホール

バンベルク交響楽団

出演:ヘルベルト・ブロムシュテット(指揮)、バンベルク交響楽団(管弦楽)
全席指定 SS席13,000円[会員11,700円] S席10,000円[会員9,000円] A席8,000円[会員7,200円]
B席6,000円[会員5,400円] C席4,000円[会員3,600円] D席3,000円[会員2,700円]
U25割(C席のみ)2,000円 親子割(A席のみ)8,500円

詳細はP4▶▶▶

チケット発売中



撮影 KEI OGATA

チケット発売!
会員:9月4日(日)
一般:11日(日)

かもめ

11月16日(水)

開場17:45 開演18:30 演劇ホール

全席指定 S席6,000円[会員5,400円]
A席5,000円[会員4,500円]
U25割2,500円※A席のみ

作:アントン・チェホフ

翻訳・上演台本:木内宏昌

演出:熊林弘高

出演:満島ひかり

田中圭

坂口健太郎

渡辺大知

あめくみちこ

山路和弘

渡辺哲

小林勝也

中嶋朋子

佐藤オリエ

主催:公益財団法人宮崎県立芸術劇場 共催:MRT宮崎放送
企画制作:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)